

ユーザーガイド

Profoto Connect

他の言語は次の URL にアクセスしてください
www.profoto.com



Profoto[®]

Profoto 製品をご購入いただき、ありがとうございます。

光は画像の本質です。光がなければ、画像も存在しないからです。

あなたの手にある Profoto 製品は、半世紀以上にわたる経験と専門知識が結集したものです。単に光を届けるためだけではなく、美しい光を当てるためにきめ細かな配慮をしながら作られています。自然で美しい光。イメージクリエイターとして成長し、発展するあなたの背中を押してくれる光。光はクリエイティブの可能性にあふれた世界の扉を開きます。

MyProfotoにサインアップするか、www.profoto.com/profoto-storiesにアクセスしてください。あなたと同じ世界中のイメージクリエイターがどのように Profoto 製品を使って美しい画像を作っているかがわかります。見る人を魅了し、心を奪い、アイデアを引き出すため、どんな風に光を使っているかも。

Profoto 製品をぜひご活用ください!

Conny Dufgran (創業者)。

安全に関する一般的な注意事項

安全に関する注意事項!

装置を使用する前に、取扱説明書および安全のための注意事項をよく読んでください。本書 (Profoto 安全に関する注意事項) は必ず製品と共に保管してください。Profoto 製品は屋内での使用を目的としています。湿気、強い電磁場、可燃性ガスや粉塵が存在する環境では、製品の保管や使用を避けてください。製品を水没させたり、水滴のかかる場所で使用したりしないでください。湿度の高い環境下では、極端な温度変化を避けてください。製品内部に結露が生じる可能性があります。装置の点検、改造、修理は、認定された資格を有する要員のみが行う必要があります。



RFに関する注意事項!

本製品は無線通信時に特定の無線周波帯を使用します。製品は必ず現地の規制に基づいて使用してください。本製品が使用する周波数帯は他の装置も使用します。電波干渉を完全に排除することはできません。無線伝送には様々な規制と制限があるため、Profoto Connect には電力出力設定が決められています。国によってはフルパワーモードの PO を使用できません。ユーザーガイドで各国ごとのセクションを参照し、各国の規制で許可されている最大電力設定を確認してください。電力出力を低くすると、装置の到達距離に影響する点にご留意ください。規制や法令は随時変

NOTICE

更されるので、最新のファームウェアを使用していることを確認し、ルールや規制に準拠していることを確認してください。これらは、Profoto.comから無料でダウンロードすることができます。

最終廃棄処分

製品が使用期限に達した場合は、他の家庭用ごみといっしょに処分しないでください。本製品は環境に有害な可能性のあるバッテリー、電気・電子部品を含んでいます。Profoto販売店にご返却いただければ、無料でリサイクルできます。バッテリー、電気・電子部品の処分に関しては各地の法令に従ってください。



目次

安全に関する一般的な注意事項	4
製品について	7
はじめに	8
Profoto アプリ	12
Profoto Air との互換性	14
技術仕様	16
製品保証	19
規制情報	20

製品について

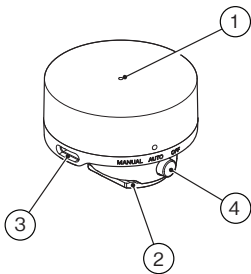
Profoto Connect は、当社初のボタンを使わないトリガー。写真を使った創造性を発揮する新しい方法を見つけたい、そんな熱意あふれるイメージクリエイターのために作られた製品です。今あなたは、いつでも、どこでも、自然光に近いライトを作り出すことができます。

コンパクトかつ計算されたデザインのポッドを使えば、オフ、自動、手動の 3 つの設定で、カメラの上部からライトをトリガできます。

これこそシンプルさの力であり。表現の自由です。あなたの想像力が自由に羽ばたかせる場所です。この製品で作られるライトは自然光と同じように美しく、しかも操作しやすいのがポイントです。

あなたに自由な創造を約束します。

はじめに



- | | |
|----------------|-------------|
| 1. ステータスインジケータ | 3. USB-Cポート |
| 2. ホットシューコネクタ | 4. リリースボタン |

Profoto Connect を Profoto アプリに接続する方法

1. スマートフォンで Profoto アプリを起動します。
2. Bluetooth 経由でお使いのデバイスを検索し、接続します。デバイス名には、Profoto Connect にプリントされているシリアル番号の一部が含まれています。
3. 指導、インスピレーション、あるいはクリエイティブツールとして、Profoto アプリをご利用ください。
4. 撮影開始!

オートモードで Profoto Connect を使用する方法

1. Profoto Connect をカメラのホットシューに接続し、オート(自動モード)に設定します。自動的に優れたフラッシュパワーが設定されます。
2. 撮影開始!
3. Profoto アプリで自動フラッシュパワーを微調整することで、画像の明度を増減することができます。

手動モードでProfoto Connectを使用する方法

1. Profoto Connect をカメラのホットシューに接続し、手動（手動モード）に設定します。これで、手動でフラッシュパワーをコントロールできるようになります。
2. 追加機能にアクセスするには、Profoto アプリを開いてください。
3. 撮影開始！

その他の注意

- カメラと Profoto Connect の接続を解除するには、リリースボタンを押してスライドオフします。
- バッテリーを充電するには、USB-C から USB-A への充電ケーブルでデバイスを電源に接続します。
- Profoto Connect のデフォルトの無線設定はチャンネル=1 です。
- Profoto Connect は、操作が行われないと、30分後に自動的にスリープモードに入り、60分後に完全にオフに切り替わります。

ステータスインジケータ

ブルー	Bluetooth 経由で Profoto アプリに接続しています。
	点滅:Bluetooth 接続が終了しました。
ホワイト	操作可能です。
グリーン	バッテリーは充電されています。
イエロー	バッテリーの残量が不足/バッテリーが充電中です。
レッド	バッテリーの残量が不足しています。

Profoto アプリ

リモートコントロール機能を追加し、簡単にアップグレードを行うには、Profoto アプリを使用します：

- 自動オフセット：Profoto Connectが自動モードの場合は、デフォルトのエネルギー出力にオフセットを追加して、画像を明るく、あるいは暗くすることもできます。
- エネルギー：Profoto Connectが手動モードの場合は、フラッシュのエネルギー出力を増減します。
- 同期選択 (カメラがサポートしている場合)：画像露出の終了時にフラッシュを起動する場合は、第1同期から第2同期に切り替えます。
- 簡単なアップグレード：製品をワイヤレスでアップグレードして、継続的に製品改善を受けましょう。

- チャンネル選択:同じチャンネルを使用しているカメラマンが他にいる場合、19個ある他のチャンネルから選択し、互いに干渉を避けることができます。
- 無線電力出力:国の規制や制限に準拠するため、無線電力出力を調整します。

Profoto Air との互換性

- Profoto Connect-C は、キャノンの E-TTL II 測定システムを使うキャノン製カメラ用に作られています。
- Profoto Connect-N は、ニコンの i-TTL 測定システムを使うニコン製カメラ用に作られています。
- Profoto Connect-S は、ソニーの TTL II 測定システムを使うソニー製カメラ用に作られています。
- Profoto Connect-F は、フジの TTL 測定システムを使うフジ製カメラ用に作られています。
- Profoto Connect-O は、オリンパスの TTL 測定システムを使うオリンパス製カメラ用に作られています。
- ただし一部の機種は対応していないか、機能が制限されています。カメラの互換性情報は、弊社ウェブサイト (profoto.com) をご確認ください。
- Profoto Connect で Air Remote トランシーバーおよび Air Sync Profoto Air トランシーバーを始動させることもできます。

- Profoto Connect は、サードパーティの無線トリガーシステム、スピードライト、Profoto 以外のフラッシュとの互換性がありません。
- Profoto Connect は、Profoto Air 機能を内蔵した Profoto 製フラッシュユニットおよびジェネレーターと併用できます。対応状況については、以下の表をご覧ください。

Profoto 製 フラッシュ 上の Air レベル	Profoto Connect の対応機能			
	手動同期	リモート コントロール	TTL	HSS
AirTTL	X	X	X	X
Air	X	X		
AirS	X			

技術仕様

同期とコントロール

スマートフォンコントロール あり、(Profoto アプリから Bluetooth を使用)

Profoto Air TTL あり、(内蔵 Air TTL レシーバーとトランスミッタ)

操作モード 自動/手動

自動電源オフ あり、(操作のない状態で60分経過した場合)

無線周波数仕様

Profoto Air 2.4 GHz 周波数帯 2.4 GHz (2404 ~ 2479.3 MHz)

周波数チャンネル数 20 (Ch.1 ~ Ch.20)

無線電力出力	最大<19.9dBm1
範囲	最大 300m (1000 フィート) (オープンスペースのフリーライン) ²
Bluetooth 低エネルギー技術	
周波数帯域	2.4GHz (2404~2479.3 MHz)
周波数チャンネル数	40
無線電力出力	最大 8 dBm

1. 出力電力は、Profoto アプリの設定によって異なります。
2. 実際の範囲は、サイトのレイアウト、周辺の素材およびその他の無線通信によって異なります。

バッテリー

バッテリーの種類	リチウムポリマー
一般的なバッテリー寿命	30 時間以下 (使用状況により異なる)

その他

ファームウェアの更新	Profoto アプリから Bluetooth を使用
------------	-----------------------------

サイズ

直径	45mm
高さ	29mm
重量	43g

すべての技術データは公称値であり、Profoto は予告なしに変更する権利を保持しています。

製品保証

製品保証は、www.profoto.com の製品ページからダウンロードできます。

規制情報

各国における無線周帯の使用

ProfotoAirとBluetoothシステムは、ライセンスフリーのSRD (ショートレンジデバイス) 用2.4GHzISM帯で作動します。この帯域は、世界のほとんどの地域で使用することができます。ただし、地域的な制約が適用される場合があります。

注意:

Profoto Connect を使用する地域の国別規制を参照し、準拠していることを確認してください。

EU 適合宣言

ProfotoABは、ProfotoConnectの無線機器が2014/53/EU指令に準拠していることを宣言します。

EU適合宣言の全文は、以下のウェブサイトから入手できます：
<https://profoto.com/int/support/declaration-of-conformity>

RF パワー

各国の規制と制限を引き続き順守するため、Profoto Connect を操作する際は以下の「RF POWER (RF パワー)」設定を使用してください。これは変更される可能性がある点に留意してください。更新された情報は Profoto.com でダウンロードできます。

国	チャンネル	RFパワー
米国/カナダ	CH1～7、9-20	P1
米国/カナダ	CH8	P4
EU (およびEES)	CH1～20	P1
韓国	CH1～20	P5
中国、台湾	CH1～20	P5

Profoto ConnectのRF POWER (RF パワー) 設定は、Profoto アプリを介して変更されます。

米国とカナダ

F.C.C.とカナダ産業省

コンプライアンス声明(パート15.19)本装置は、FCC規則のパート15およびカナダ産業省のRSS-210に準拠しています。操作は次の2つの条件に従います:

1. 本装置は有害な干渉を起こすことはありません、
2. 本装置は、予期せぬ混信の影響により、操作ができなくなることがあります。

警告(パート15.21)

コンプライアンスに責任を負う当事者が明らかに承認されていない変更や修正を行った場合は、装置を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

FCC無線周波数暴露

警告:ProfotoConnect装置は、米国FCC無線周波数暴露限度以下のレベルで無線周波数エネルギーを放射します。しかしながら、この装置を使用するときは、通常操作時に人が接触する可能性を最小限に留めるようにしてください。携帯で

の操作については、この装置は試験済みで、装置が身体から最低 1.0 cm の位置にあるとき FCC RF 暴露ガイドラインを満たします。カメラに装着して操作する場合、この装置は試験済みで、装置が頭部から最低 2.0 cm の位置にあるとき FCC RF 暴露ガイドラインを満たします。

Ce dispositif est conforme aux normes RSS-210 d'Industrie Canada. L'utilisation de ce dispositif est autorisée seulement aux conditions suivantes :

1. il ne doit pas produire de brouillage et
2. l'utilisateur du dispositif doit être prêt à accepter tout brouillage radioélectrique reçu, même si ce brouillage est susceptible de compromettre le fonctionnement du dispositif.

IC RF 暴露限度

証明/登録番号の前の「IC」という文字は、カナダ産業省の技術仕様に適合していることを表すものです。

Profoto Connect 装置は、制御されていない環境に対して定められた IC RSS-102 放射線暴露限度に準拠しています。携帯での操作については、この装置は試験済みで、装置が身体から最低 1.0 cm の位置にあるとき IC RF 暴露限度を満たします。カメラに装着して操作する場合、この装置は試験済みで、装置が頭部から最低 2.0 cm の位置にあるとき IC RF 暴露限度を満たします。

Limites d'exposition RF IC

Les lettres 'IC' n'ont aucune autre signification ni aucun autre but que d'identifier ce qui suit comme le numéro de certification/d'enregistrement d'Industrie Canada.

Le dispositif Profoto Connect est conforme aux limites sur l'exposition aux rayonnements IC RSS-102 définies pour un environnement non contrôlé. En mode manuel, ce

dispositif a été testé et respecte les limites d' exposition IC RF lorsque ce dernier est placé à au moins 1 cm du corps. Pour un fonctionnement sur caméra, ce dispositif a été testé et respecte les limites d' exposition RF IC lorsque ce dernier est positionné à au moins 2 cm de la tête.

Profoto AB

トランスミッター / レシーバー

モデル: Profoto Connect

製品番号: PCA5459-0000/PCA5465-0000/PCA5478-0000/
PCA5479-0000/PCA5480-0000

FCC ID: W4G-RMI6、QOQBGM12LMA

IC: 8167A-RMI6、5123A-BGM12LMA

スウェーデン製

日本

このモジュールは、日本での販売および使用許可を得ています。

特定無線設備の種類

指定無線装置の分類:

第2条、第1節、19項

2.4GHz広帯域低電力データ通信

上記のとおり、電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を行ったものであることを証する。

これは、無線法の第38～24条第1文の条項に従って上述の認証がタイプごとに付与されていることを証明するものです。



R202-LSF011

R209-J00226

韩国

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음.

台湾

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

クレジット

Apple iPhoneは、米国および他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有する登録商標です。Profotoによる当該マークの使用はすべて、ライセンスに基づいて行われています。

その他の商標と商品名は各所有者の所有物です。

Heatshrink ライブラリは、copyright 2013-2015, Scott Vokes <vokes.s@gmail.com> です。ライセンス全文は Profoto.com をご覧ください。

Frozen ライブラリは、copyright (c) 2016, QuarksLab. です。ライセンス全文は Profoto.com をご覧ください。

プロフォト株式会社
東京都中央区湊 1-1-12
HSB 鉄砲洲ビル3F

03-3206-1861
info@profoto.jp
www.profoto.com



テクニカルデータおよび製品情報は予告なし
に変更されることがあります。

104550, 2018年10月。スエーデンで印刷